

イギリス文学・文化論ゼミ



◆担当教員：加藤 千博

- ・研究分野：イギリスユートピア文学、英語教育
- ・担当科目：「イギリス文化論」「イギリス文学B」「European Culture in English」「海外文化実習」
- ・研究室：総研棟 210

◆ゼミ開設日：月曜 3 限（2 年生）；月曜日 4 限（3 年生）；月曜日 1・2 限（4 年生）

◆ゼミの概要：本演習で扱うテーマは、イギリス文学、英国文化、カルチュラル・スタディーズ、ポストコロニアル理論、英語教育など、イギリスに関わることであればおおよそ何でも設定が可能である。

初年度は、イギリス文学のなかでユートピア文学といわれるジャンルに属する作品・作家を研究する。具体的にはトマス・モア『ユートピア』、ジョナサン・スウィフト『ガリヴァー旅行記』、ウィリアム・モリス『ユートピアだより』、H・G ウェルズ『タイムマシン』、オルダス・ハクスリー『素晴らしい新世界』、ジョージ・オーウェル『1984』、カズオ・イシグロ『私を離さないで』などを扱う。

授業ではエコロジーを切り口とした批評本 *Ecological Utopias - Envisioning the Sustainable Society* (Marius de Geus, 1999 年) をテキストとして輪読し、文学テキストから環境問題を考察していく。同時にポストコロニアル理論を中心としたカルチュラル・スタディーズの観点から英国文化を考察し、旧植民地国との影響関係を学んでいく。

授業の進め方は、テキストを予習し、その内容を要約、場合によっては全て和訳しながら内容を確認し、ディスカッションを交えて理解を深める。授業と並行して、読書発表や英語学習の情報交換を随時行っていく。他のゼミとの合同発表会も開催する。学期末には各自の関心に基づいて研究発表を行う。

次年度以降はゼミ生の関心に沿って扱うテーマを決定する。3 年次はイギリスの大学で 2 週間のサマーコースを受講し、その後 1 週間のフィールドワークを行う。この海外研修の事前準備をゼミと「海外文化実習」の授業内で実施する。

◆メッセージ：文学・文化研究に必要なことは、多くの本に触れ積極的に異文化と関わり、そして語学力。本演習では英語力向上のためのトレーニングも行います。受講者は他の海外フィールドワークや海外研修にも積極的に参加して下さい。「イギリス文化論」「イギリス文学 B」「European Culture in English」「APE」「初習外国語」の授業も同時に履修して下さい。

